

## 狭山市制施行60周年を迎えて思うこと

### ～文化事業と地域づくりの原点とは～

市制施行60周年おめでとうございます。昭和29年市制が施行され、その後の人口増加に伴い、様々な需用の拡大の中で各種事業の推進が図られ今日の「文化都市狭山市」の発展をみるに至っています。急速な都市化の中で、風土そのものが変容した状況は、経済・文化の大いなる進展をもたらしたと思います。

地域社会においては、経済規模の拡大とともに余暇時間が付加価値として人々に大いに与えられるようになり、新たな文化要素も醸成されてきました。そして文化活動の隆盛の中で狭山市文化団体連合会が発足しました。今から15年前のことです。各地域の文化団体・ボランティア等の組織化により、拡大的に文化事業が推進され、構造的にも充実されてきています。当連合会の事業展開については、生涯学習事業の発進として重要な役割を果たしていると思います。

今日、世界情勢を見るに、風土・文化等の違い、また政治経済の運用の差により、多くの地域で摩擦が生じています。特に文明という枠の中で、お互いが培った風土・文化の影響は大変大きいものがあり、相互の理解の調整が困難になっている地域が多く見受けられるところです。しかし、日本の風土においては、地政学的にも、歴史的にも穏やかな文化風土を築いてきたと思います。そしてこの文化風土は、理解の調整が図り易い状況を生み、世界に類をみない独自の文化が醸成されてきたと思われまます。

当市においても各種の文化団体や個人が、それぞれの立場で文化事業・地域づくりにと活躍されているところですが、一人ひとりの意識された文化活動が、地域づくりの第一歩であると思います。今日、個人というものが重要な要素として社会に位置づけられてきていますが、やはり、地域づくりは、共生といえますか、人と人との協働で成り立つものであり、お互い理解し合いながら創りあげるものであると思います。この実践として各地域で多くの催事等が行われていますが、その実施過程の中で、コミュニケーションが図られ、共に地域を創るという意識が萌芽されてくるものと思います。



皆さんとアートを語るひと時

また、特に文化事業の中での重要な要素は、生きがい対策、福祉対策であると思います。健康を保つということは、個人が生きがいをもつこと、心に栄養をもつことであると思うのです。つまり、文化事業の果たす役割は「健康を保つ」というところに位置づけられるのではないのでしょうか。今後、高齢化が進む中で、さらに健康・医療の問題が重要な課題として取り上げられてくると思いますが、健康はからだと心の両輪で

保たれているということが大事な視点であると思います。

このように文化事業を含めての生涯学習が、健康づくり、明るい社会を築く最大の要素であり基本であると思います。心の栄養である文化事業がますます推進され、当文化団体連合会がさらに活躍されることを祈るものです。「一隅を照らす」という心で！

ギャラリー麦 オーナー 栗原梅次 (狭山市文化団体連合会 監査役)

#### 編集後記

異常気象の夏に秋風が立ち始めた頃 Deng 熱。野菜作りが趣味の私は毎日蚊に刺されても平気だったが、これからは注意したい。

文化祭も間もなく。市制施行60周年記念第15回狭山市民芸術祭の企画も着々と固まりつつあります。会報でも詳細を紹介して参ります。

(高沢正夫)